

藤田嗣治

Foujita: Painting and Photography

絵画

と

写真

2025.
7.5 sat. → 8.31 sun.

ドラ・カルムス（藤田）1927年 東京藝術大学所蔵

◎休館日 月曜日（ただし7月21日、8月11日、8月25日は開館、7月22日（火）、8月12日（火））
◎開館時間 10時～18時（金曜日～20時）*入館は閉館30分前まで
◎主催 東京ステーションギャラリー（公益財団法人東日本鉄道文化財団）
◎協力 レオナール・フジタ財団、メゾン・アトリエ・フジタ（フランス エソンス県）
◎企画協力 キュレクターズ ◎協賛 T&D 保険グループ

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



1 絵画と写真につくられた画家

絵画と写真でセルフブランディング 画家フジタのメディア戦略

オカッパ頭に丸メガネ、口元の髭と奇抜なファッション、そして傍らには猫——。フジタを知る人にとってお馴染みのいでたちは、絵画と写真によって、繰り返し再生産されてきました。アイコニックなキャラクターを世に知らしめた自画像とポートレート写真を一挙に展示。映像が氾濫する時代に先駆けた「画家のメディア戦略」の跡を追います。

- ①ドラ・カルムス《藤田》1925-29年頃 東京藝術大学所蔵
②藤田嗣治《室内の壁、チェスト、オブジェなど》1958年 東京藝術大学所蔵
③藤田嗣治《マドレーヌ、メキシコ》1932/1994年 メゾン＝アトリエ・フジタ所蔵
④藤田嗣治《市街 バスの前の人々》1955年 東京藝術大学所蔵



①



© Fondation Fuyuta / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 E6032

**3 画家がつくる写真
過去最大級！
フジタが撮影した
珠玉の写真が一堂に**

- ⑤藤田嗣治《自画像》1929年
名古屋美術館所蔵
⑥藤田嗣治《婦人像（リオ）》1932年
広島県立美術館所蔵
⑦藤田嗣治《猫を抱く少女》1949年
個人蔵（名古屋美術館寄託）



© Fondation Fuyuta / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 E6032



© Fondation Fuyuta / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 E6032



© Fondation Fuyuta / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 E6032

藤田嗣治（1886-1968）は、乳白色の下地に描いた絵画で世界的に知られた、エコール・ド・パリを代表する画家です。この展覧会では、そんなフジタの芸術を「写真」をキーワードに再考。画家と写真の関係を次の3つの視点から紐解きます。

あの人はえらく近眼だし、写真のこともなんか知らないですよ。けれどもうまいですね。

木村伊兵衛「色彩撮影の実験問題」『アサヒカメラ』第41巻第8号、p.144

2 写真がつくる絵画

徹底比較、絵画と写真

傑作に隠された秘密に迫る

一期一会の出会いを逃さないように、フジタは旅先のあらゆる景色や人々にレンズを向け、その姿を記録しました。そして、メモのごとく無造作に撮られた写真から細部を切り出しては、キャンバスの上に構成していきましました。本展では、代表作とその素材となった写真を併せて展示します。絵画それ自体を味わうのは勿論、写真と比較した分析も面白い。一度二度おいしい鑑賞が楽しめます。

入館料＝一般1,500(1,300)円、高校・大学生1,300(1,100)円、中学生以下無料

※()内は前売料金[6/1～7/4、オンラインチケットで販売]

※障がい者手帳等持参の方は200円引き（介添者1名は無料）

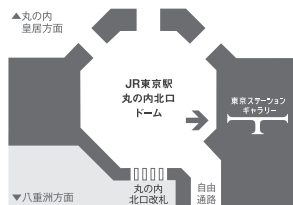
※オンラインwww.e-tix.jp/ejrcf_gallery/（前売券・当日券）または当館1階入口（当日券）でチケット販売

●都合により開催内容が変更になる場合があります

●最新情報や関連イベントは当館ウェブサイトで随時ご案内します

次回展 | インド更紗（仮称）2025年9月13日（土）～11月9日（日）

オンライン
チケット



東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

| 住所 | 東京都千代田区丸の内1-9-1

| 交通 | JR東京駅 丸の内北口 改札前

| Tel | 03-3212-2485

| ウェブサイト | <https://www.ejrcf.or.jp/gallery/>